

JD Farag 牧師 中東アップデート 2018年6月24日公開

神の裁きが近づいている

では、預言アップデートに入りましょう。お話ししたい事がたくさんありますので、正しくお伝えできるように、主が導いてくださると信頼します。

今日お話ししたいのは、期待の高まっている「中東和平案」について。これは「世紀の協定」とも呼ばれています。その理由は、いくつもありますが、主な理由があります。これには、偽の「平和と繁栄」の感覚が伴うからです。どうかよく聞いて下さい。とても興味深いのですが、今日、アメリカ合衆国とイスラエルでは確実に、「ハッピーな時代がまたやって来た！」と多くの人が思っています。さらに言えば、「アメリカが、再び偉大になった」とか？ 私達も、まだここに居れば11月に訪れますが、イスラエルに行けば、分かります。今日、イスラエルに行くと、イスラエルは史上最強、イスラエルは今日のように繁栄した事は、未だかつてありませんでした。こんな歌がありましたよね？「ハッピーな時代がまたやって来た！」私の歌を聞かせて皆さんを苦しめるような事はしませんが、皆さんも、この歌をご存知でしょう。どうか理解しておいてください。私は、水をさすつもりはないのです！ただ私は、愛を込めて真実を語らなければなりません。そして、その真実とは、「神の裁きが近づいている。」

昨今、これについては、あまり耳にしなんでしょう。さらに、「来る神の裁き」について語ろうとすると、即座に退けられる事も、珍しくありません。「何を言っているんだ？！」「株式市場を見たか？！」「記録的な高値だよ。」「すべてが順調だよ」「全てが最高に上手くいっているよ！」今の世では、神の裁きの話は流行りません。しかし、これは、神の御言葉の中に、一貫して見られます。現在私達は、木曜日に詩編を学んでいます、この教会であれ、オンラインであれ、その学びに参加されている方は、分かるでしょう。詩編のいたるところで、ダビデは、自信をもって、主を賛美しています。それは、神が正義であり、悪の上に神の裁きが迫っている事を、知っているからです。彼は、それを知って、大きな慰めを得ているのです。そして、それを待ち望んでいます。いつか、遠くない将来、もうすぐ、神が最後の判決を下される！！私は、それがとても待ち遠しいです。これまでに、何度もお伝えしていますが、私達にある祝福された希望、神が最後の判決を下されなければ、私は文字通り、大げさでなく、文字通り気が狂っています。

詩編73章は、非常に興味深く、それを学ぶのがとても楽しみです。このペースだと、2020年頃にはたどり着くでしょう。現在詩編9章ですから。ともかく、これが素晴らしい詩編で、詩人は、文字通り気が狂いそう、もう、信仰を失ってしまう、信仰の危機だと書いています。なぜなら、彼は、悪人が繁栄するのを目にしているからです。

「確かに私は、むなしく心をきよめ、手を洗って、きよくしたのだ。」(詩編73:13)と詩人は語ります。私は苦しみ、悪人が栄えているように見える。これは、いったいどういう事なんだ？！と。それが終わりにさしかかると変わるのです。だから私は詩編が大好きなのですが、ダビデの詩でも、初めは、困難な状況で彼は絶望しているのに、終わりにさしかかると、完全にそれが変わるのです。といっても、変わるのには状況ではありませんよ？彼の心が、です。彼は始め、泣き、懇願し、嘆願しています。「ああ、神よ！」と。それが終わりに、「ああ、神よ！」ではなく、「おお！神よ！！」に。何が変わったのでしょうか？それは、詩編73編にあるように、

「私は、神の聖所に入り」(17節)

…ここは、常に向かうべき場所ですよ

「ついに、彼らの“最後”を悟った。」(17節)

これで解決です。「そうか。」「分かった。もう大丈夫。」神は正義だ。裁きが行われる。その時、義人は褒美を受け、悪人は罰を受ける。それでなければなりません。

「まあ、そうですけれども、先生。神は、愛の神ですよ？」

そうです。ただし、彼が正義の神でなければ、愛の神ではありません。もし神が、正義を行われないなら、愛の神でもありません。これは、互いに矛盾するものではありません。「神の御言葉は、非常に明確に告げている。神の裁きが、非常に近づいている。」

詩的な表現で申し訳ありませんが。ともかく、要点は次の通りです。今日は、それについて、お話ししたいと思います。

神の裁きは、訪れます。平和のない時に、皆が「平安。平安。」と言っている、です。

預言者エレミヤ6章13-14節を、お読みしたいと思います。私は天で、この神の人に会うのが、とても楽しみです。神の預言者エレミヤ。彼は、嘆きの預言者と言われていますが、カンファレンスには、絶対に呼ばれない人

ですよ。なぜだか分かりますか？誰一人として、救われませんでしたから。一人も救われませんでした。それとは反対に、ちょっと話がそれますが。きっと誰かを励ます為かも知れません。反対に、私はヨナの事を考えていました。彼の時は、町全体が、イスラエルの神の救いにあずかったのです。そして、神に対して怒りを覚えました。彼らが悔い改めたから。それがヨナでしたね？

ところが、こちらエレミヤ。彼の預言がどういうものだったか、ご存知ですか？彼の説教が、どんなだったか？それは、「裁きが来る！」というものです。これは人気のメッセージではありませんでした。しかしながら、エレミヤの時代には、“気分を良くするメッセージ”を宣べ伝える者達がいました。こんな風に言って申し訳ないですが。「裁きなんて来ないよ！」「ハッピーな日々がまたやって来た♪」「パーティーしよう！」「繁栄してるんだ！エンジョイしよう！」「再び偉大になったんだ！」

「しかし神は、」この2つの言葉が全てを変えます。

“なぜなら、身分の低い者から高い者まで、みな利得をむさぼり、預言者から祭司（牧師）に至るまで、みな偽りをやっているからだ。”（エレミヤ6:13）

彼らは真実を語ってはいませんでした。

“彼らは、私の民の傷を手軽にいやし、平安がないのに、「平安だ、平安だ」と言っている。”（エレミヤ6:14）

ここで、この旧約聖書の預言書の文脈が、新約聖書の教会に当てはまるか、やってみましょう。これはまるで、エレミヤ時代の教会に行っている人の、非常に大勢が、自分に都合のいい事を教えられ、また、それを言うてもらうために、そこに集まっているかのようです。「すごく良い！」「すべてが素晴らしい！」「平安！」平安がないのに。

預言者エゼキエル 13:10-12、15-16 節をお読みします。よく聞いてください。

“**実に、彼らは、平安がないのに『平安』**と**いって、私の民を感**わし——”

これまた、興味深い言葉遣いですね？実に、感わしだと思いませんか？これもまた告白すると、ある日、私がテレビを観ていると、ある有名なテレビ伝道者が出ていて、巨大な教会でした。ものすごく巨大です。それがもう、滑らかな言葉で、私も思わず催眠術にかかりそうでした。「そうだ、わお…」と。「そうだ…」「私は、可能性に満ちているんだ…」「今は、私の人生で最高だ…」そうですか？あれは、感わしですよ。あれは、肉の私を感わします。

“**実に、彼らは平安がないのに『平安』**と**言**って、私の民を感わし、壁を建てると、すぐ、それをしっくいの上塗りしてしまう。”（エゼキエル 13:10）

“わたしは、その壁と、それをしっくいの上塗りした者どもへのわたしの憤りを全うして、あなたがたに言う。壁もなくなり、それにしっくいを塗った者どもも、いなくなった。エルサレムについて預言し、平安がないのに平安の幻を見ていたイスラエルの預言者どもよ。——神である主の御告げ——（エゼキエル 13:15-16）”

私が、ここからどこへ持って行こうとしているかは、皆さんも、もうお分かりだと思いますが。真実は、次の通りです。真実以外の何物でもない真実。この、キリストを拒絶した世、すなわち、世の平安と安全へのあくなき追求の上に、神の裁きが下ります。それに関して、先週起こった展開を基に、滅びと裁きは、皆さんが思っている以上に近づいていると主張したいと思いますので、どうぞお付き合いください。

まずは、この JerusalemPost の記事から。金曜日（6/22）、ネタニヤフ首相、ドナルド・トランプ大統領の娘婿で、上級顧問のジェラード・クシュナーと、特別国際交渉官代表のジェイソン・グリブラードとの、エルサレムでの会合について。

——ヨルダンの王アブダッラー2世もまた、水曜日、クシュナーとグリーンブラットと会い、イスラエル—パレスチナ紛争における、2国解決策の重要性を強調した。アブダッラーは、「アメリカは、イスラエルとパレスチナ当局との将来的な対話において、重要な役割を担っている。」と言い、また、彼の見解では、（よく聞いてください）「パレスチナは、エルサレムの一部を、パレスチナの首都として“含めなければならない”。」王はさらに、予定外に、月曜日、アンマンでネタニヤフ首相とも会い、再度、ムスリムとクリスチャンにとってのエルサレムの重要性を説明しながら、地域の「平和と安定」への唯一の道は、2国解決策である事を強調した。中東和平案の青写真は、来週、アブダッラーがワシントンでトランプと会合する時に、再度協議されると期待されている。——

ちなみに、これに関して、木曜にホワイトハウスが発表しました。

——2人の指導者たちは、テロ、イランからの脅威、シリアの危険を含む、共通の問題と、それから、イスラエルとパレスチナとの永続する平和に向けての働きについて協議する。——

木曜日、Foxnewsが興味深い記事を紹介しています。

——まだ発表されていない、トランプの中東チームのイスラエル—パレスチナ和平協議の青写真に対して、そびえ立つ障害のいくつかは、トランプのチームに見えてきた。——

これが出来つつある事は、私達も知っています。ただ、それがいつなのかは、私達には分かりません。ある報道によれば、和平案は、8月より前に公表される事はないようで、ある人達の憶測では、和平案は9月に発表されると言います。その事実確認をしている時間が、今朝はなかったのですが。これもまた、興味深いです。これらの記事の中で、彼らが多く疑問を問いかけ、それに答えようとしています。その一つは、この訪問の目的に関してです。このFoxNewsの言葉をよく聞いてください。

——ドナルド・トランプ大統領の娘婿、ジェラード・クシュナー率いる、中東チームは、この訪問について、口を固く閉ざしてきた。訪問先には、ヨルダン、エジプト、サウジアラビア、カタール、イスラエルが含まれる。クシュナーと、ジェイソン・グリーンブラット使節は、協議内容は、ガザの人権問題について、それから、イスラエルとパレスチナの和平を促進するための、アメリカの働きについて話し合うとの、漠然とした声明を発表した。しかし、彼らの日程は発表しなかった。火曜日、彼らはヨルダンのアブダッラー2世と、水曜日、サウジアラビアの皇太子ムハンマド・ビン・サルマーンとの会合を、彼らが認識したのは、それが終わってからだ。続いて彼らは、カタールと会合し、そのあと週末に、イスラエルと会合する。——

記事の中で、彼らが問いかけ、答えようとしている、また別の質問はこちらです。

——「アメリカの和平計画には、何が含まれているのか？」クシュナーのチームは、それを言わない。サウジの情報に頼っている、アッパーズの助手たちが言うには、彼らは、彼らがパレスチナには、ガザ市内に“ミニ国家”と、“エルサレムへの足掛かり”の西岸地区の一部を与えて、決着をつけようとしているのではないかと、疑っている。これはイスラエルが、1967年の小規模な国境調整で占領した土地、西岸地区全体、ガザ、東エルサレムを国とするように求めてきた長年のパレスチナの要求には程遠い。——

つまり、これはいったい何を意味しているのか？皆さん、間違いなく、次の言葉を聞いた事があるでしょう。

「鉄は熱いうちに打て。」私が信じている事を、僭越ながらお伝えさせていただくと、今日の中東、中東の鉄は、ここまで熱くなった事はありません。今日ほど熱かった事はありません。私から見ればこれは、今の時を逃しては、もうないように思えます。というのも、全ての役者が、完璧に配置についている事実があるからです。まさに、完璧です。まるで、これが最後の試みのような感じで、「今でなければ、もうあり得ない。」「他に選択肢はない！」「これを、実現しなければならぬ！」「何かしなければならぬ！」「今！」「今、これをしなければ、それは決して実現しないだろう。」しかし、聖書は、それは起こると告げています。ですので、それは決して実現しないという考え方は、改めなければなりません。

つまり、何がしたいのか？私は、毎週これを言っていますよね？しかし、何回言っても言い飽きる事はありません。皆さんは、私がこれを言うのは、聞き飽きたかも知れませんが。信者にとって、これはものすごくワクワクする事です。これは非常にワクワクします。なぜ、信者にとって、これがワクワクする事なのかを説明します。それは、これらすべてが下る前に、私達は上にあがるからです。「ああ先生！また、例の大患難前携挙の話です

ね？」聞いて下さい。ソーシャルメディアで、私達が受け取っているコメントの中で、私が教えている大患難前携拳の聖書の真実に対して、酷評しているもの1つにつき、もし\$1もらえるなら、私はこの建物の経費を全部支払って、それから、皆さん全員にベンツを買ってあげられますよ。イエスの御名によって・・・

黙示録3:7-13をお読みしたいと思います。イエスがヨハネに書かせた、フィラデルフィアの教会の御使いに宛てた手紙です。これは、ここの教会を励ますために書かれました。「頑張れ！」と。頑張れ！！彼はこう言っています。

“『聖なる方、真実な方、ダビデのかぎを持っている方、彼が開くと、誰も閉じる者がいない、彼が閉じると、誰も開くものがない、その方がこう言われる。「わたしは、あなたの行いを知っている。見よ。わたしは、誰も閉じることの出来ない門を、あなたの前に開いておいた。——”

ここが特に興味深いのです。この、イエスがヨハネに書かせた、特にこの部分をよく聞いてください。

“なぜなら、あなたには、少しばかりの力があって、——”

え？！皆さん、終わりの時の信者を表している、この教会の感じをなんとなくお分かりいただけるでしょうか？この教会は、わずかな力で踏ん張っていたのです。イエスが言っておられます。

“わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。”（黙示録3:7-8）

ちょっと、お付き合いください。これはつまり、他の人達は、彼のことばを守らなかった、という事です。そうですね？それからまた、他の人達は、彼の名を否んだ、という事も意味しませんか？それから、イエスは続けて言われます。

“あなたが、わたしの忍耐について言ったことばを守ったから、——”（黙示録3:10）

何の“ことば”ですか？「忍耐について言ったことば」です。踏ん張れ！忍耐しろ！頑張れ！よく聞いてください。

“あなたが、わしの忍耐について言ったことばを守ったから、わたしも、地上に住む者たちを試みるために、全世界に来ようとしている**試練の時**には、あなたを守ろう。”（黙示録3:10）

「試練の時」—大患難と同じ言葉です。聞きましたか？イエスは、こんにちの私達に、これを言っておられるのです。「頑張れ！」と。「あなたが、わたしの名を否まなかったから、あなたが、わたしのことばを守ったから、わたしは、あなたの行いを知っている。あなたが、少しばかりの力で頑張っているのを、わたしは知っている。」
「知っているよ。だから、あなたがわたしの名を否まなかったから、あなたが、わたしのことばを守ったから、わたしは、あなたを、7年の大患難から守る。」
「わたしは、あなたがたを、7年の大患難が全世界に臨む前に連れ去る。」

それから彼は、こう言われます。ここで、聖霊が私達の心に自由に入って励ましを与え、少しばかりの力がある私達の心を強めて下さるように、祈ります。

彼は言われます。

“わたしは、すぐに来る。あなたの冠を、誰にも奪われないように、あなたの持っているものを、しっかりと持っていなさい。”（黙示録3:11）

冠って何？！おー！あの冠！使徒パウロが、人生の終わりにテモテに書いた手紙の中で告げています。

“私は、勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。今からは、**義の栄冠**が私のために用意されているだけです。” (第二テモテ 4:7-8)

私は待ちきれません！男性の皆さんは、冠と聞くと変な感じがするでしょうが。「ええ？冠なの？」そうですよ！言うておきますが、この冠は絶対に欲しくなりますよ。良いですね？“義の栄冠”です。しかも彼がいうには、それは、ただ彼にだけでなく、

“**主の現れを慕っている者には、誰にでも授けてくださるのです。**” (第二テモテ 4:8)

この栄冠ですよ。そして彼は言われます。

“勝利を得る者を、わたしの神の聖所の柱としよう。彼はもはや、決して外に出て行くことはない。わたしは、彼の上に、わたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち、わたしの神のもとを出て天から下ってくる新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名とを書きしるす。” (黙示録 3:12)

新しい名前が待ち遠しいです。私は、昔から自分の名前が嫌いですから。

“**耳のある者は、御霊が諸教会言われることを聞きなさい。**” (黙示録 3:13)

対比が興味深いと思いませんか？都合（耳障り）の良い事を、言ってもらおうとする耳？偽の平安？しかし耳のある者は、御霊が諸教会に言われる事を聞くべきです。

もう一度言います。神の裁きが近づいています。そして、神の御霊によって、新しく生まれている者だけが、先ほどお伝えした、全世界に臨む大患難の時から守られます。だから私は、毎週、イエス・キリストにある救いを、救いの ABC として、お伝えしているのです。今日もまたお伝えしたいと思いますが、その前に、私と同じように、皆さんも祝福される事を願って、一つ、シェアしたいと思います。

先週、私のツイッターのフォロワーの方の投稿を、リツイートしたのですが、救いの ABC の簡単さと、その効果について彼が書いていました。私は実に祝福されました。彼の投稿を、皆さんにもご紹介したいと思います。

「先生の教えに感謝します。とても祝福されています。先生の『救いの ABC』を通して、去年私は、自分の人生を主に再び捧げました。それから、当時私の彼女だった現在の妻も、キリストに人生を捧げました。先生に、神の祝福がありますように！」

あなたが、これまでに、一度も主の御名を呼び求めた事がないなら、どうかお願いします。もし、あなたが、この動画を観ているなら、あなたがこの動画をインターネットで見つけたのは、偶然ではありません。「救いの ABC」は子どもにも分かるほど簡単です。これが、救われる方法です。



A=Admit/認める、Acknowledge/認識する

自分が罪人であり、救い主が必要である事を認める。ローマ書こうあります。

“「**義人はいない。ひとりもない。**」” (ローマ 3:10)

“すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることが出来ず” (ローマ 3:23)

“罪から来る報酬は死です。” (ローマ 6:23)

これは死刑宣告です。しかし良い知らせは、イエスが来られて、あなたの死刑宣告を、あなたの代わりに引き受けられた。そのために彼は、血を流し、全額支払って、あなたを救い出されたのです。先ほど、エペソ人への手紙で話をしましたが、イエスが、あなたを買い取ってくださった。そして、あなたを救われた。それは、ただ、これから起こる裁きからだけでなく、地獄からも、永遠に救って下さったのです。それが良い知らせです。よい知らせとは、

“しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。” (ローマ 6:23)

B=Believe/信じる

イエス・キリストが主であり、神が彼を死からよみがえらせたこと、心で信じる。これは、ローマ 10:9-10 で、こうあります。

“あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。” (ローマ 10:9-10)

C=Call/呼び求める、Confess/告白する

主の御名を呼び求める。もしくは、イエス・キリストが主であると、あなたの口で告白する。これも、ローマ書 10:9-10 が告げています。

“なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。” (ローマ 10:9-10)

最後に、とてもシンプルです。シンプルすぎるのかも知れません。

“「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる」” (ローマ 10:13)

祈りましょう。

愛する天のお父様。私達はまた、あなたの御言葉の力に、感謝しています。あなたの御言葉の威力です。主よ。今日は、厳しい内容でした。しかし、それは必要です。それが真実。それが真理ですから。そして、真理が私達を自由にします。ですから主よ。最後に祈ります。あなたは、皆の心をご存知です。落胆し疲れ切って、傷ついている、お一人お一人の心に、主よ、あなたが忍耐を与え、強め、彼らが耐えられるように、励ましたください。また、あなたに心を閉ざしている人達、あなたに耳を閉ざしている人達が、今日、御霊が諸教会に言われる事に、耳を傾けますように。主よ、お願いします。これまで一度も、あなたの御名を呼び求めた事のない人達にとって、今日が、救いの日となりますように。このお祈りを、イエスの御名によっておささげします。アーメン。

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、目の治療をされました。どうか、りよくさんの病後の弱さを覚えて、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」
ヘブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい